



ひびぎ

理事長就任にあたって

このたび、安達前理事長の後をうけ、50年の歴史を持つドラム缶工業会の第17代目の理事長に就任いたしました。大変な重責であります。微力ながら任務を全うすべく努力したいと存じますので、皆様方のご支援をよろしくお願い申し上げます。

就任の挨拶に先立って、まず前任の安達理事長のご活躍に「礼申し上げたいと思います。安達前理事長は就任直後に当時の経済情勢をふまえて雇用調整給付金業種指定に取り組まれこれを実現されました。また、在任中には特に経済のグローバル化が大きく進みましたが、これにも適切に対応されるとともに、環境問題にも積極的に取り組み、特にドラム外装塗料の重金属フリー化については一定の方向付けが出来るまで進められました。このように在任中に大きな成果を収められましたことに改めてお礼申し上げます。

さて、最近の情勢ですが、日本経済は最悪期を脱し緩やかな改善が続いてはいるものの、依然として厳しい状態にあります。そのなかで1～6月のエチレン生産量はほぼ前

新役員紹介

- 【理事長】 近藤 徹
川鉄コンテナ(株) 代表取締役社長
- 【副理事長】 山本 雄造
(株)山本工作所 代表取締役社長
前田 磯友
(株)前田製作所 代表取締役社長
- 【常任理事】
 - ≪200リッター缶関係≫ 安達 良英
日鐵ドラム(株) 代表取締役社長
谷口 勲
鋼管ドラム(株) 代表取締役社長
 - ≪中小型缶関係≫ 辻元 康作
ダイカン(株) 代表取締役社長
 - ≪ペール缶関係≫ 林田 雅博
(株)ユニコン 代表取締役社長
- 【委員長】
 - ≪企画委員長≫ 藤田 喜彦
川鉄コンテナ(株) 取締役
 - ≪技術委員長≫ 菅 克之
鋼管ドラム(株) 常務取締役
 - ≪業務委員長≫ 角田 孝三
日鐵ドラム(株) 専務取締役
 - ≪ペール委員長≫ 梶田 温
大同鉄器(株) 取締役東京支店長

近藤 徹
ドラム缶工業会理事長
(川鉄コンテナ)株式会社代表取締役社長



年並みという比較的高い水準となり、このような環境下でドラム缶の出荷も前年同期比6.1%の増加となりました。

しかしながら、ドラム缶業界においては需給の大幅な改善は認められず、価格の下落は下げ止まりつつあるものの、引き続き厳しい状態にあります。このような状況下では、現実を直視し、我々の業界が今後もお客様に満足頂ける商品を安定的に供給できる業界であり続けるためにはどうあるべきなのかを見つめ直すことが大切であると思います。

また、特にこの2～3年の間に世界経済のグローバル化や地球規模での環境諸問題への取り組みに伴う数々の環境規制などの動きの中で、我々の業界でもいろいろな課題も顕在化してきております。

このようにドラム缶業界を取り巻く状況はまことに厳しいものがあり、これらの課題を解決するため工業会が果たすべき役割はますます大きくなってきています。このなかで私は次のような課題に積極的に取り組みたいと思います。

まず、第一に環境問題ですが、ドラム缶は潤滑油、ガソリン、いろいろな化学物質を貯蔵運搬し、日本で内容物が詰められて一部は全世界へ流通している物流容器であります。このため環境問題にまつわる課題に対してはJSDA(ドラム缶工業会)、SSCI(米国ドラム缶工業会)、SEFA(欧州ドラム缶工業会)で協力し合って解決しなければならなくなってきています。このうち、ドラム外装塗料の重金属フリー化の件に関しては、この2年間工業会として大変な努力をかけて研究し、一定の方向付けまで出来ました。今後これをお客様や更生缶業界の方々のご協力を得ながら実施していきたいと思っております。

次に第一の問題とも関係しますが、先に述べましたドラム缶業界の現状では、会員相互の意志疎通と相互理解が最

も大切であります。さらに進んでお客様や更生缶業界との連携も同様に大切であります。幸い今までに更生缶業界との連携の場であり「ドラム缶協議会」は軌道に乗っておりますし、また(社)日本化学工業協会との協議の場も発足しておりますので、これらを充実させ相互理解を図るとともに問題の解決に役立てていきたいと思っております。

また、国際関係についても危険物輸送に関する国連勧告の問題やドラムの仕様、試験方法の万国共通化の動き等があり、SSCI、SEFAと連携するとともに、日本の主張も明確に打ち出していく必要があります。このような取り組みにも力を入れていきたいと思っております。

その他、環境ホルモン対策、P R T R法への対応等問題は山積しています。また、このたびは役員および各委員会の委員長およびそのメンバーも新体制となりました。この新体制でドラム缶業界の為に貢献していきたいと思っておりますので支援をお願い申し上げます。

第4回 AOSD 国際会議について

AOSD (アジア・オセアニア鋼製ドラム製造業者協会) (Association of Asia-Oceanic Steel Drum Manufacturers, 略称 A O S D) の第4回国際会議の1stサーキュラーがこのほど出されました。概要は以下の通りです。

1. 会 期：平成13年4月9日(月)～12日(木)
2. 会 場：慶州現代ホテル(韓国)
3. 主 催：A O S D
4. 開催国：韓国 Insung社を中心とする韓国ドラム缶メーカー
5. 会議テーマ：“New Millennium Together with Steel Drums in Asia”
(アジアの鋼製ドラムとともに迎える新しい千年)
6. 日程概要：4月9日(月) 登録及びA O S D正副会長会議
11日(火) A O S D総会
発表及び討議(各国のドラム・ペールの市場動向)
12日(水) 発表及び討議(環境問題を含む技術問題)
13日(木) オプショナルツアー
(浦項製鉄、ドラム及びペール工場見学他)



Dr. ドラムの “缶々学々” 講座

本シリーズの第三回は、ドラム缶の「言語学」を学ぼうということで、語源にまつわる話にスポットを当てました。

第2回：言語学の巻 元をただせば太鼓から出た言葉

——ドラム缶の「ドラム」とは何語で、どういう意味なのでしょうか？

Dr. ドラム 米国のネリー・ブライが発明したくらいじゃから、もちろん英語に決まってる。英語の“DRUM”といえば、君だって意味は分かるじゃろうが。

——ええ、「太鼓」ですよ。

Dr. ドラム そうじゃ。“DRUM”は16世紀半ばドイツ語

から取り入れられたもので、名詞では「太鼓」「ドラム」、動詞では「太鼓やドラムを打つ」「トントン、コッソコッソ叩く」「(キツツキが)木をつつく」「(鳥や昆虫が)ブンブン羽を鳴らす」の意味で、現在も使われているのじゃ。——それは分かりましたが、「太鼓」がどうしてドラム缶になるのですか？

Dr. ドラム 形じゃよ、形。太鼓は円筒形をしているじゃろが。“DRUM”には「(太鼓のように用いられる)中空の木」の意味もあって、その意味から派生して「円筒形の容器」という意味が生まれたのじゃ。われわれの耳の中にある「中耳」や「鼓膜」、動物の「鼓状器官」、コンピュータの「磁気ドラム」、機械のウインチの「巻胴」なども、英語ではすべて“DRUM”というのじゃ。

——なるほど、ドラム缶も円筒形そのものですからね。

Dr. ドラム 当初、石油は木樽(英語では“BARREL”)で運ばれておったのじゃが、漏れ等からネリー・ブライが1903年に発明した鋼製容器に次第に置き換わり、その形状から“DRUM”と呼ばれるようになったのじゃ。“DRUM”自体は英語として古くから使われている言葉じゃが、ドラム缶の意味で使われるようになってから、まだ1世紀足らずしか経っていないのじゃ。

——おそれいました。

2000第6回建築リフォーム&リニユーアル展でも活躍するドラム缶
(写真提供…日本ドラム缶更生工業会 本野克彦会長)



ドラム缶のある風景

DATA
FILE

平成12年上期出荷実績

平成12年（1月～6月）ドラム缶・缶種別・用途別出荷本数

(単位：千本)

用途 缶種	石油	化学	塗料	食料品	その他	合計	前年比
200ℓ缶	1,028	4,610	310	106	175	6,236	106.4%
ペール	6,316	5,401	383		334	12,434	102.7
100ℓ缶	11	103	3		2	119	105.9
50ℓ缶	微	157			21	178	109.3
アス缶型	6	2				8	81.9
その他容量缶	2	255	微	微	11	268	103.3
200ℓ	亜鉛鉄板缶	49	1	微	4	54	101.2
	ステンレス缶		15			15	157.3
小計		64	1		4	69	109.7
中小型	亜鉛鉄板缶		115		1	116	105.6
	ステンレス缶		6		微	6	174.5
小計		121			1	122	107.7
合計	7,363	10,713	703	107	548	19,434	104.0
前年同期比	101.1	105.1	108.2	150.7	110.3	104.0	—
構成比	19.8	70.9	4.8	1.5	3.0	100.0	—

(注) 構成比は、ドラム缶の出荷トン数の構成比。



連日の猛暑の中、冷たい飲み物を飲みながら庭を取りとめもなく見ていると、借景となっている桑の木がつややかな葉の色を見せているのが目に止まった。朝方はひときわみずみずしい緑を見せ、日中の強い日差しの下ではややぐったりして垂れ下がるが、夕方にはまた元気を取り戻し、きれいな緑色が目を楽しませてくれる。

桑の木は以前は養蚕のため全国各

地に広く見られ、桑の実の子供たちに親しいものであった。葉は桑茶として茶の代用にもなり、樹皮から繊維が取れ、煎じ汁は黄色の染料になり（桑染）、根の皮は漢方で利尿剤、緩下剤になり、材は狂いが少ない良材で細工物や建材に使われ床柱等では古木を見ることもある有用な木である。

このためか中国では古くから桑を聖樹とみる信仰があり、太陽の出る神木としての扶桑、転じて太陽の出る国日本、雷よけの威力を持つと言

う信仰からの“くわばら、くわばら”という厄除けの語も養蚕の伝来とともに日本各地に広まったといわれる。

この桑の木も近頃は都会では目にすることも少なくなり、昔のように子供たちに親しいものであった木でもなくなっている。このように日本人に古くからなじみのある木を街路樹などとして子供たちにも親しみやすい形で活用し残せないかと思う。

(藤田喜彦記)

トップの素顔

「信頼すること、されること」が大切



株式会社長尾製缶所
代表取締役社長 長尾 浩志さん

大正7年創業の(株)長尾製缶所の5代目社長に就任して3年目となる長尾社長、「こうしたインタビューを受けるのは、いろいろなことを改めて考えさせてくれるので、いい刺激になる」と、仕事や家庭のことを楽しく

「昨日、NHKテレビで歌手の島倉千代子が出演していたのですが、今年でデビュー45周年だそうです。たいしたものですね感激しました」。昭和37年頃、八幡製鐵の体育館で行われた慰安会では、総務関係の仕事柄、楽屋まで訪ねたという安達社長。ざっくばらんにさまざまなお話を伺った。

—ご出身は？

★生まれは神戸で、その後東京、埼玉(浦和)にと移りました。そしてお墓は金沢にあるのです(笑い)。ですから物心ついて育った浦和を出身地ということにしています。

—その頃の思い出というと…

★とにかく空襲の恐ろしさばかりが印象に残っています。30歳過ぎまでよく夢で見たくらいです。

—良い思い出は？

★父がサッカー選手だったこともあって、私も兄弟も子供の頃からよくサッカーをしましたし、いろいろな試合も見に連れて行ってもらったものです。

—Jリーグ発足当初の横浜マリノスの安達

話っていた。――

—ご出身はみかんで有名な有田市ですね。

★そうです。現在は有田郡吉備町に本社も住まいもありますが、生まれて育ったのは有田市港町です。母の実家がみかん山を持っていたものですからよく手伝いに行ったものです。もっとも手伝うというより「みかん狩り・食べ放題」の感覚でしたが(笑い)。

—有田川の河口近くだそうですね。

★ですから、子供の頃の思い出というほとんど釣りです。海水と真水が混ざるのでさまざまな種類の魚が釣れましたね。初夏の頃は潮干狩りでアサリやハマグリを、夏場は、昼間は畑でミミズをとって夜はそれを餌にしてウナギ釣りが日課でした。

—今もお子さんと釣りをなさるとか。

★防波堤で磯釣りみたいなことをしていますが、やはり昔と比べると魚が少なくなっています。稚魚もあまりいないし、川も護岸工事の影響で潮干狩りもできません。ちょっと寂しいですね。

監督はご実弟だそうですね。

★はい、兄弟も、そして私の子供たちもサッカーは大好きで、時には家内ともサッカー観戦をします。

—サッカーとは今も大変深い繋がりがおありですね。

★昭和46年に日本サッカー協会の役員となり、現在の財務委員に就いてからは20年以上にもなります。

—サッカーの魅力は何ですか。

★いくら紙面があっても足りませんよ(笑い)。要約して言うと、まずサッカーほど選手のポジション、動きが自由なスポーツはない。また、選手一人一人の技術、体力に加え、イマジネーション、つまり先の先までの展開を描いて反応する能力がないと駄目だし、なかなか得点できません。自由奔放で想像力豊かな動きとシステムによって生まれるゴールシーン、これが魅力ですね。

—フランスがワールドカップ、ヨーロッパカップを取りましたね。

★今、世界では組織的なプレーとかゲルマン

—釣りの他、ご家族で一緒に過ごす時間を大切にされているとか。

★はい、仕事柄、家にいる時間が限られてしまうので、年に一度の家族旅行(4人)と、家内との二人の旅行は毎年欠かさず行っています。一昨年は4泊5日で、車での紀伊半島一周をしてきました。

—奥様とはいろいろと同じ趣味があるそうですね。

★旅行、映画などがそうですが、家内はとにかく多趣味で、それに影響されて私も好きになったものもあるんですよ。オペラに初めて行ったときは寝てしまって響きものでしたが(笑い)。その後は「信頼」を裏切らないよう、努力しています(笑い)。

—「信頼」といえばモットーもそうですね。

★ええ、わが社のモットーも「和・創意工夫 信頼」となっているのですが、私はやはり「信頼」し、そして信頼されることが仕事の上でも、私生活でも最も重要だと思っています。



「父の代からサッカー一家」です

日鐵ドラム株式会社
代表取締役社長 安達 良英さん

魂とかを売り物にしたドイツ、またイギリスが凋落し、フランス、イタリア、ブラジルなどの想像力、個性豊かな個人プレーを中心とするチームが強いですね。

経営にとっても示唆に富む話でしょうか。

会員

秋田ドラム工業(株) 川鉄コンテナ(株) 協和容器(株)
鋼管ドラム(株) 斎藤ドラム缶工業(株) 山陽ドラム缶工業(株)
新邦工業(株) ダイカン(株) 大同鉄器(株) (株)東京ドラム罐製作所
東邦シートフレーム(株) (株)長尾製缶所 日鐵ドラム(株)
(株)前田製作所 森島金属工業(株) (株)山本工作所 (株)ユニコン
《賛助会員》

エノモト工業(株) 三恵マツオ(株) 丹南工業(株) (株)大和鐵工所
三喜プレス工業(株) (株)城内製作所 東邦工板(株) (株)水上工作所

ドラム缶工業会

東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10
(鉄鋼会館3階)

TEL 03-3669-5141 FAX 03-3669-2969

e-mail: drum.pail@jsda.gr.jp

ひびき No.28 (平成12年8月22日発行)

発行人 ドラム缶工業会
事務局長 藤野 泰弘

本誌は再生紙を使用しています。